ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/04/17 号(As of 2024/04/16)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	154.42 AUD/USD
TKY 9:00AM	154.22	1.0625	163.75	1.2444	0.6441
SYD-NY High	154.79	1.0653	164.65	1.2471	0.6444
SYD-NY Low	153.90	1.0601	163.68	1.2406	0.6390
NY 5:00 PM	154.73	1.0619	164.21	1.2427	0.6401

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,798.97	63.86	日本2年債	0.2800%	0.0100%
NASDAQ	15,865.25	▲ 19.77	日本10年債	0.8600%	0.0000%
S&P	5,051.41	▲ 10.41	米国2年債	4.9839%	0.0613%
日経平均	38,471.20	▲ 761.60	米国5年債	4.6970%	0.0708%
TOPIX	2,697.11	▲ 56.09	米国10年債	4.6685%	0.0599%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,495.00	▲ 240.00	独10年債	2.4855%	0.0540%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,820.36	▲ 145.17	英10年債	4.2955%	0.0575%
DAX	17,766.23	▲ 260.35	豪10年債	4.3180%	0.0690%
ﾊﾝｾﾝ指数	16,248.97	▲ 351.49	USDJPY 1M Vol	10.02%	0.61%
上海総合	3,007.07	▲ 50.31	USDJPY 3M Vol	9.64%	0.50%
NY金	2,407.80	24.80	USDJPY 6M Vol	9.66%	0.37%
WTI	85.36	▲ 0.05	USDJPY 1M 25RR	▲1.77%	Yen Call Over
CRB指数	296.84	▲ 1.34	EURJPY 3M Vol	9.67%	0.49%
ドルインデックス	106.26	0.05	EURJPY 6M Vol	9.85%	0.50%

【昨日の指標等】

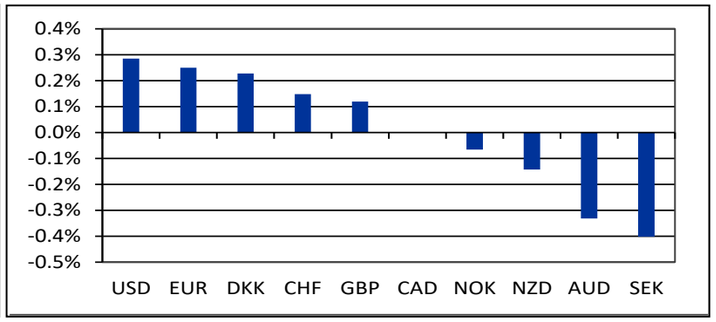
Date	Time		Event		結果	予想
4月16日	11:00	中	GDP(前年比)	1Q	5.3%	4.8%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	3月	4.5%	6.0%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	3月	3.1%	4.8%
	18:00	独	ZEW景気期待/調査現状指数	4月	42.9/-79.2	35.5/-76.0
	18:00	欧	ZEW景気期待指数	4月	43.9	-
	21:30	米	住宅着工件数	3月	1321k	1485k
	21:30	米	建設許可件数	3月	1458k	1510k
	22:00	米	ジェファーソンFRB副議長 講演	「ｲﾝﾌﾚが根強く続いた場合はより長期間の高金利維持が適切」		
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	3月	0.4%	0.4%
	02:15	米	パウエルFRB議長 講演	「利下げに先立ち必要な確信を得るのにより長い時間が必要」		

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月17日	15:00	英	CPI(前年比)	3月	3.1%	3.4%
	15:00	英	CPIｺｱ(前年比)	3月	4.1%	4.5%
	18:00	欧	CPI(前年比/前月比)・確報	3月	2.4%/0.8%	2.4%/0.8%
4月18日	03:00	米	ベージュブック			

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.00-155.00	1.0550-1.0650	164.00-165.00

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は154.22ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方鈴木財務相による「為替の動き、しっかりと注視」との発言や、G20 における日米韓財務相会合開催に関する報道があったが、市場の反応は限定的にとどまった。日中は日経平均が軟調に推移しながらも、ﾄﾞﾙ円は底堅く推移し、結局154.49ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、154.49ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米政策金利が従前予想よりも長く維持されるのではとの観測でﾄﾞﾙが対円で強含み。154.70まで上昇し154.63ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.0606ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。独4月ZEW期待指数が予想を上回る中、ﾕｰﾛは1.0647まで買い戻され1.0643ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

NY市場のﾄﾞﾙ円は154.63ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米3月住宅着工件数と建設許可件数が共に予想を下回るも、反応薄。続いてｼﾞｪﾌｧｰｿﾝ･FRB副議長が「ｲﾝﾌﾚが根強く続いた場合はより長期間の高金利維持が適切になる」との発言を受け、154.77まで上昇。その後、一時153.90まで急落する場面もあったが、その後米金利が再度上昇する展開を横目に154.60付近まで戻す。午後はﾊﾟｳｴﾙFRB議長が「最近のﾃﾞｰﾀはｲﾝﾌﾚのさらなる進展が欠如している」、「ｲﾝﾌﾚについて確信得るのにより長時間かかりそうだ」との認識を示すと、米短期金利が一時大台の5.00%を記録する等の米金利高の展開を受け、154.79まで続伸。その後は155円台での為替介入への警戒感から伸び悩み、154.73ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外時間のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.06台前半でｽﾀｰﾄ。米金利の上昇が重しとなり、1.0603まで下落。その後、独4月ZEW景気期待指数が予想より良好だった事を受け、買い戻しが入り、1.0643ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米金利一段と上昇する展開を背景に、ﾄﾞﾙが買われる中、1.0619まで続落。午後は1.0601まで値を下げる場面もあったが、米金利が上昇幅を縮小する動きを受け小幅反発し、1.0619ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は154円台を中心に堅調推移となった。欧州時間のドル/円は、東京時間の流れを引き継いで154円台後半まで上昇した。NY時間に入り、ジェファーソンFRB副議長がインフレについて鈍化を続けるとの見通しを示す一方で、物価上昇圧力が根強く続いた場合はより長期間の高金利維持が正当化される旨示すと、ドル/円は154円台後半で更に上昇した。しかし、155円を目前に上昇が一服すると154円割れまで一転反落、その後はすぐに元のレベル154円台後半まで回復した。パウエルFRB議長の発言で利下げ開始の先延ばしが示唆されると、ドル/円は154円台後半にて一段上昇の兆しを見せたが155円がレジスタンスとなり、終盤にかけては154円台後半で上値が押さえられる形で推移した。本日のドル/円は154円台での推移を予想する。昨晩、米高官により利下げ開始の先延ばしが示唆されたこともあり、本日もドル/円は堅調推移すると考える。一方で、海外時間に見られたように155円がレジスタンスとして重くのしかかっており突破には時間がかかりそう。上値が押さえられる時間が長くなってくると一時的に反転下落するリスクもありそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・松木